

職場から...「切り売り解体では、会社の将来がなくなる！」 安心して働ける職場こそが再建に!!

三洋電機では、それまで三洋電機の事業運営の舵取りをしていた井植敏雅社長が突然の辞任、この4月から佐野新社長に交替しました。

また、この社長交替劇の前には、主導権を握る金融機関側が三洋の中核事業さえも売るとの情報マスコミに飛び交いました。

労働者の間からは

「このままでは三洋電機は解体されるのではないかと不安が強まっています。」

金融機関の思惑どおり売却・解体となると、労働者に多くの犠牲が押し付けられます。実際、三洋は業界2位といわれた自販機分野を売却しました。その後、売却先でのリストラ・移動や売却先従業員との人間関係、仕事のやり方などが原因で多くの労働者が退職に追い込まれたといわれています。また、中核事業がなくなれば、残った会社の将来展望さえ危うくなり、労働者には一層の不安とギセイが予想されます。大株主さえ儲ければ、後は野となれ山となれ、とのやり方は許されません。

労働組合は、「マスコミが書き立てるような切り売りには、断固反対する」との意思表示をしています。これは当然です。

いま、三洋電機で働く多くの労働者の望んでいることは、ようやく営業利益が出せるようになった製造業をさらに前進・再建させることです。消費者の満足する製品を生み出し、売ることです。そのためには、行き過ぎた成果主義や、過酷な営業研修・異動などで、労働者を苦しめるのではなく、開発・製造・販売にたずさわる、すべての労働者が安心して働ける状況を作り出すことです。また、企業としても、それを保障することが社会的責任です。

三洋に働くみんなの力で、三洋電機に、大企業としての社会的責任を果たさせましょ。

前社長「切り売りしない約束もらった」

新社長「もう人減らしはおしまい」

これまで、三洋労働者にリストラを押し付けてきた旧・新の両社長から注目すべき発言が...

井植前社長：「わたしはやめなくてはならない。でもその代わりに、メインバンクの頭取から『コア事業の切り売りはない』という約束をもらってきた」（「朝日」）

佐野新社長：「失業を気にせず安心して働ける職場をつくれれば、必ず活力をとりもてる」「人減らしは06年度でおしまい」（「朝日」）

.....
職場からは「この言葉が本当なら、金融機関の圧力に、身を挺して事業と雇用を守ってほしい」との声が上がっています。

新社長は、管理職や部下が頭を悩ますような新処遇制度を考え出すよりも、なぜ三洋の商品が売れないのか、従業員が研究開発に専念できているのか、営業マンが生き生きと活動できているのか、働く人を大切に、現場を見つめた経営をしてほしい。〔大阪・営業〕

なんで、三洋製品の不具合が多発しているのか。安易に中国など海外に生産を移したり、異動で、熟練をつんだ年配の社員を退職に追い込んでいるからだと思います。技術は人間に蓄積されます。アクアなどいい製品を生み出すのだから、それを支える人間と生産技術をもっと重視すべきは....。〔滋賀〕

コンプライアンスを説きながら違法な「労使一体の企業ぐるみ選挙」に管理職を総動員することが会社の再建の力になるのでしょうか。モチベーションを益々低下させ、半導体事業の売却が現実になろうとしているのに、このような企業体質が今日の事態を招いた元凶だということに何故気が付かないのでしょうか。〔群馬 三洋半導体(株)〕

発行者：電機労働者懇談会 谷口利男
〒108-0073 東京都港区三田 3-2-20
Tel:03-3455-6006 FAX:03-3451-3595
編集：三洋電機労働者懇談会
発行 2007年5月(号外)



ひとりで悩まず、相談を
電機労働者懇談会

電話：03-3455-6006(東京)
06-6354-7237(関西)

メール：denkikon@jcom.home.ne.jp

大阪労連・北河内地区協議会

電話：06-6909-5091

FAX：06-6909-5092